

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202105860253Q1	科目番号 / Course code	05860253
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12311_006		
授業科目名 / Course title	教育原理 / Principles of Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山岸 利次		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山岸 利次		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山岸 利次		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Eメールアドレス。 t-yamagishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 2 1 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問や面談のポイントはEメールにて行ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、教員免許状の取得を目指す学生に「教育理念」「教育史」「教育思想」そして「教育課程」について教職員に必須の内容を理解してもらうことです。学問の意義の核心は日ごろ私たちが見聞きする現実をいかに分析するかにあります。本授業は「教育理念」「教育史」「教育思想」そして「教育課程」の観点から、教育学がいかにして事実を分析するか、そのことについて受講生と考えていくものです。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代日本の教育を規定している教育理念を説明できる。</li> <li>2 現代の教育の在り方を規定している教育思想について説明できる。</li> <li>3 現代の教育の在り方を規定している教育史的事実について説明できる。</li> <li>4 現代日本の学校教育の教育課程の特徴を説明できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(20点×2回)+学期末試験(60点)=合計100点のうち、60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめレジュメを配布しますので、レジュメを読み、わからない用語等につき調べておいてください(2h)。 復習：レジュメを熟読し、講義の内容を振り返ってください(2h)。		
キーワード/Keywords	教育理念、教育思想、教育史、教育課程		
教科書・教材・参考書/Materials	子どもの権利条約市民・NGOの会『国連子どもの権利条約と日本の子ども期一第4・5回最終所見を読み解く』(本の泉社、2020年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-mail）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	日本の教育は現在進行形で変わりつつあります。新聞やTV、インターネット等で教育関係の報道をしっかりとキャッチしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	日本の高等教育の現状と課題
第3回	教育課程の制度と学習指導要領の歴史
第4回	新学習指導要領と「学力」
第5回	現代の教育問題としての「いじめ」
第6回	いじめ防止対策の法制度と学校
第7回	「教」・「育」の語源学
第8回	"education"の概念史
第9回	西洋における公教育の成立
第10回	西洋における公教育の展開
第11回	日本における公教育の成立
第12回	日本における公教育の展開
第13回	ケアとしての教育
第14回	「子どもの権利条約」と日本の教育
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202105880066Q1	科目番号 / Course code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15771_001		
授業科目名 / Course title	ダイバーシティ社会における課題とその解決(令和2年以前入学者用 自分のキャリアを考える講座) / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23, 教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	令和2年度以前入学者用		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuyoshida_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ダイバーシティ推進センター / Center for Diversity and Inclusion 教育学部220研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:10?12:50 (教育学部研究室でのみ対応)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	現代社会の課題とされているダイバーシティ社会のありようについて、男女共同参画の実現及びジェンダーギャップの解決、ワークライフバランスの実現、アンコンシャスバイアスなどのテーマを通して、社会の一員としての自分のキャリア形成に役立てる / Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標 / Course goals	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたいたい人物像を知ること。ワークライフバランス・ダイバーシティ (多様性) の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることができるようになる / To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート50点 (50%) + 授業への貢献 (プレゼンテーション及び小レポートなどで評価) (50%) = 100点満点のうち60点以上が合格とする。プレゼンテーションは、グループで選んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントなどで発表してもらいます / Reports and (50%), presentations・mini reports (50%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示 / Instructions as necessary 事前学習: 自分が現在キャリアをどのように考えているか、介護の体験、ジェンダーのこと、仕事、家庭のことなどを常に考えておくことを求める。メモでもいいので、できるだけ言語化しておくこと (2h) 事後学習: ジェンダーやLGBT、キャリアに関する報道に着目し、イベントに参加するなど、視野を広げる活動を求める。各論については資料を再読し、理解を確実にすること (2h)		
キーワード / Keywords	ダイバーシティ、キャリア、ワークライフバランス / diversity, career, work life balance		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary.	
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし/Nothing in particular	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp、http://nagasaki-ajisai.jp	
学生へのメッセージ/Message for students	この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思えます。 / Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values ??in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 ゆり / ①病院 (児童精神科、小児神経科外来) の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った(1年間) 。 / ②発達障害外来を持つ病院での臨床心理士歴を持つ教員が、発達障害の各論とその指導法について講義 / ③横浜市総合リハビリテーションセンター (非常勤)	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	自分のキャリアを自分で考える：ワークライフバランスとダイバーシティ (吉田)	A D
第2回	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア (井口茂)	D
第3回	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア (井口茂)	D
第4回	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第5回	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第6回	アンコンシャスバイアスを知る (伊東昌子)	B
第7回	アンコンシャスバイアスに対応する (伊東昌子)	D
第8回	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第9回 (5月15日)	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第10回	LGBTについて (吉田ゆり) 長崎大学の取り組み	D
第11回	LGBTについて (吉田ゆり) ゲストスピーカーを迎えての講話	A
第12回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり)	A
第13回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり)	A
第14回 (6月5日)	子育てとキャリア、子育て支援 (吉田ゆり)	A B
第15回 (6月5日)	まとめ (学生同士のディスカッションを中心に) (吉田ゆり)	A B